

### 3.11 震災時の対応についてご報告いたします。

地震の発生した14時46分は、中高とも考査後の授業中でした。ただし、中学3年生は全員カナダ修学旅行中、高校1年生英語コース1クラスは英国ホームステイ中、高校3年生は卒業後でした。

地震発生時は各教室にて授業担当者が生徒を机の下に待避させ、ドアを開けて避難経路を確保しました。新館校舎は優れた耐震構造を有しているため、防火管理体制により出火がないかどうか確認しつつ各教室で待機させました。職員室にいた教員が手分けして校内各階を巡回、生徒の安全と備品等の被害を確認しました。地震による校内の目立った被害はありませんでした。その時点で、各家庭に対する「緊急時一斉連絡網」にて生徒と学校の無事を送信しました。ただし、メール等の不通により、保護者に一報が届いた時間はかなりまちまちでした。公式ホームページは稼働しましたので、ブログに同じ文面を掲載し、公式ツイッターでも安全である旨発信しました。この2つで情報を得た保護者が多数いました。

ニュース等で情報収集にあたりつつ、館内放送にて適宜情報を出しました。その後生徒には携帯電話、館内固定電話にて家庭連絡をさせました。保護者が迎えに来た生徒は順次帰宅、迎えに来られない生徒は全員学校に宿泊することとしました。翌日の休校も決定し、一斉送信、公式ホームページ、公式ツイッターにて発信しました。

宿泊する生徒には、入学と同時に備蓄してあった各自の「非常用キット」を配付。食料、水、毛布、などが配られました。その後カフェテリアで夜食としてけんちゃんうどんを作り、校内の生徒全員に提供しました。生徒は10時に消灯、就寝しました。全員、とても落ち着いて行動していました。保健室にて救護体制をとりましたが、幸いなことに生徒、教職員とも体調不良者はゼロでした。

中学生を新館コンベンションホールに、高校生は夜間のみ大体育館に集め、女性教員を配置して朝まで当番制で付き添いました。男性教員は当番制を敷いて校門に立ち、徒歩帰宅する一般の方を駅へ誘導しつつ深夜に迎えに来る保護者に対応しました。当時の公式ツイッターで発信した記録によると、この夜は中学1、2年生が各60名、高校1年生約150名、高校2年生が約130名宿泊しました（夜中に迎えが来て帰宅した生徒もいるので概数です）。その後午前2:00現在、中1が41名、中2が42名、高1が96名、高2が93名となりました。ちなみに教職員の宿泊者は約40名でした。

夕刻から夜にかけて、卒業生が一時避難に立ち寄った例もありました。近隣の方も数名避難してきましたので、生徒とは別の場所にて待機していただきました。

一夜明けて3月12日、7時過ぎにカフェテリアで炊飯、おにぎりを作って生徒全員に食べさせました。やや睡眠不足ぎみの生徒はおりましたが、体調不良者はゼロでした。

7:00よりJR中央線が運転再開との情報により、自宅と連絡がとれた生徒から順次帰宅させることを決めました。7:00過ぎ、JRの運転再開を確認して生徒を帰宅させました。午後1時過ぎに最後の保護者が迎えに来て、生徒全員が学校を出ました。教職員も順次帰宅、夕刻までに待機の教職員も帰宅しました。

その後3月24日まで学校は休校。教職員のみ出勤して情報収集、非常キットの再整備、業者による建物・水道・電気・ガス等校内の安全確認など事後対応にあたりました。カナダ、イギリスの研修旅行組も無事帰国しました。

現在は今夏の電力不足についての対応など検討を進めているところです。

